## 令和6年度第1回山形県公立大学法人評価委員会議事要旨

- 日 時 令和6年7月31日(水)午後2時から午後4時まで
- 場 所 山形県職員育成センター3階 第5研修室
- 〇 出席者 〈委員〉

出口委員長、橋爪委員、佐藤委員、永瀬委員、中村委員、前田委員 < 県 >

岡本総務部長、柴田健康福祉部長、五十嵐高等教育政策主幹、

音山健康福祉企画課長 ほか

<山形県公立大学法人>

阿部理事長、渡辺理事、大和田理事、金光理事、松井理事、小池理事 ほか <公立大学法人山形県立保健医療大学>

上月理事長、熊谷理事、遠藤理事、佐藤理事はか

#### 〇 議 事

- (1) 地方独立行政法人法改正により年度計画・年度評価が廃止されることに伴う対応の方向性(案)について
- (2) 令和5年度業務実績報告書に関する評価について
  - ① 山形県公立大学法人
  - ② 公立大学法人山形県立保健医療大学

## 〇 審議経過

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
- (1) 地方独立行政法人法改正により年度計画・年度評価が廃止されることに伴う対応の 方向性(案)について

事務局から説明を行い、原案どおり了承された。

- (2) 令和5年度業務実績報告書に関する評価について
  - ① 山形県公立大学法人

山形県公立大学法人から令和5年度業務実績報告書について説明が行われた後、 大項目ごとに質問、意見交換を行い、大項目別に評価を行った。業務実績評価書の 取りまとめについては、委員長に一任された。

#### 大項目別評価は以下のとおり。

大項目			
大項目			
第2	山形県立米沢栄養大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達	4	
	成するためにとるべき措置	4	
第2	山形県立米沢女子短期大学の教育研究等の質の向上に関する目標	3	
の2	を達成するためにとるべき措置	3	
第3	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべ	4	
	き措置	4	
第4	財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置	4	
第5	自己点検、評価及び情報の提供に関する目標を達成するためにとる	4	
	べき措置	4	
第6	その他業務運営に関する目標を達成するためにとるべき措置	4	

### <主な意見>

# 【学生が企画・開催する国際交流イベントについて (栄養大・米短大)】

- 「米沢駅前映えcaféオープンプロジェクト」は効率的に様々な要素を取り入れた取組みとしてS評価として良いのではないか。実際に、外国出身の方7名、地域の方9名が参加したABCカフェの実績があり、十分に評価していいと思う。(前田委員)
- 矢口委員からの事前意見で、『事務局の「業務報告のABCカフェは米沢駅前映えcaféオープンプロジェクトで企画・実施した活動の一部であり、当該活動のみをもって年度計画を上回って実施したとは言えないためA評価」という意見に賛成です。』とある。私も、参加者数が増加し、企画がより充実することで、今後S評価となっていくのではないかと考える。「地域社会への参画」の項目ではS評価になっており、「米沢駅前映えcaféオープンプロジェクト」の活動そのものの評価は大変良いものということを確認した上で、国際交流についてはさらに充実させていただきたいという意味でA評価としていかがか。(出口委員長)

#### ② 公立大学法人山形県立保健医療大学

公立大学法人山形県立保健医療大学から令和5年度業務実績報告書について説明 が行われた後、大項目ごとに質問、意見交換を行い、大項目別に評価を行った。業 務実績評価書の取りまとめについては、委員長に一任された。

#### 大項目別評価は以下のとおり。

大項目		評価
第2	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとる べき措置	4
第3	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第4	財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第5	自己点検、評価及び情報の提供に関する目標を達成するためにとる べき措置	4
第6	その他業務運営に関する目標を達成するためにとるべき措置	4

### <主な意見>

# 【災害発生時の安否確認について】

- 矢口委員からの事前意見で、『実際の災害時に 90%以上の学生が安否確認システムを活用することができたという実績から、学生の防災意識が非常に高いことがうかがえる。訓練に留まらず、実際にシステムを活用することができたことから、S評価と考える。』とある。私は、90%は高い数値ではあるが、大学法人からの説明で「100%を目指したい」と主張があったので、そこが到達点になるのではないかと思う。大学法人が 100%という高い目標を掲げているので、A評価としていかがか。(出口委員長)
- 安否確認システムの回答率が90%というのは低くはないが、安否確認は最後の 一人まで行う必要があるため、A評価が妥当と思われる。(佐藤委員)

#### 4 閉会